

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公表番号】特表2013-508828(P2013-508828A)

【公表日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-534499(P2012-534499)

【国際特許分類】

G 06 F 3/01 (2006.01)

G 06 F 3/0346 (2013.01)

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 H 1/34 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/01 3 1 0 D

G 06 F 3/033 4 2 4

G 10 H 1/00 Z

G 10 H 1/34

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月22日(2013.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

手動入力デバイスであって、

ユーザの複数の指によって起動される一連の起動ポイントと、

前記ユーザの手の現在の方向を測定するモーションセンサと、

前記起動ポイントおよび前記モーションセンサと相互接続された処理手段であって、一連の現在アクティブな起動ポイントと前記方向とを実質的に連続して出力する処理手段と、を備えることを特徴とする手動入力デバイス。

【請求項2】

指当たりの前記起動ポイントの数は少なくとも2ポイントであり、これらのポイントはユーザの指の異なる部分と相互作用を行うために互いに離れて配置されていることを特徴とする請求項1に記載の手動入力デバイス。

【請求項3】

指当たりの起動ポイントの数は少なくとも3であることを特徴とする請求項1に記載の手動入力デバイス。

【請求項4】

ユーザの前記複数の指は親指を含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項5】

前記モーションセンサは、前記デバイスの角回転速度を検知する方向センサを備えることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項6】

前記モーションセンサは、前記デバイスのロール、ピッチおよびヨー指標を出力することを特徴とする請求項5に記載の手動入力デバイス。

【請求項 7】

前記モーションセンサは、前記デバイスの任意の相対的動きを検知する位置センサを備えることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 8】

前記デバイスは、ユーザによる使用時に起動ポイントのカウンタバランスをとるよう重み付けされた細長い部分をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 9】

前記起動ポイントの相対位置は個々の指に対して調整可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 10】

前記起動ポイントはマイクロスイッチから形成されることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 11】

前記処理手段は前記出力を無線送信するための無線送信手段と相互接続されることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 12】

前記起動ポイントの各々は、個々に作動されるか、または、他の起動ポイントと組み合わされて作動されるかのいずれかによって作動され得ることを特徴とする請求項 1 乃至 1 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 13】

前記起動ポイントは半音階の音に対応づけられることを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 14】

前記デバイスの方向の 1 本の軸は、音のピッチのオクターブを出力するために対応づけられることを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 15】

前記デバイスの方向の 1 本の軸は一連のゾーンに対応づけられることを特徴とする請求項 1 乃至 14 のいずれか一項に記載の手動入力デバイス。

【請求項 16】

少なくとも 2 個の手動入力デバイスであって、個々のデバイスは、
ユーザの複数の指によって起動される一連の起動ポイントと、
前記ユーザの手の現在の方向を測定するモーションセンサと、
前記入力デバイスの前記起動ポイントおよび方向のための前記モーションセンサと相互接続された処理手段と、を備え、
さらなる処理ユニットが、個々のデバイスの個々の処理手段と相互接続されるように備えられ、前記複数の手動入力デバイス間の差動出力を計算するように設けられることを特徴とする手動入力デバイス。